|  |
| --- |
| **2023年度　盛岡商業高等学校教職員　働き方改革アクションプラン**  **～　チームＭＯＲＩＳＨＯ・スタイル　～** |

**盛岡商業高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **１　現　　状(令和4年度)** | **３　取組内容** | |
| ・　時間外在校等時間が100時間以上の教職員が０％である。   * 時間外在校等時間（週休日の部活動指導従事時間を除く）が45時間以上の教職員は１０％である。   ・　部活動休養日が、週２回又は年間100日以上の教員は６９％である。  ・　週に１日は定時退庁できている教職員が３１％である。  ・　1日単位の有給休暇の取得が年５日未満の教職員が５８％である。  ・　この職場で勤務することについて満足と意欲を持っている教職員は６９％である。  ・　心身の健康を考えて仕事ができている教職員は６１％である。  ・　本校は働き方改革に取り組んでいると肯定評価する教職員は８２％である。 | **（１）教職員の負担軽減** | **（２）教職員の健康確保等** |
| ・　常時、業務・行事の適切なスクラップ＆ビルドを検討・実施します。  ・　業務量及びその内容の不公平感解消に向  け、教職員の声を聞き、解決に向けて柔軟な割り振りをします。  ・　業務の引継が確実・適切にできるよう、記録や綴りを整備し、引継会を実施します。  ・　グループウェアや共通様式を有効利用するなど、業務の効率化を進めます。 | ・　教職員自らが勤務時間を把握して時間外勤務減少に取り組みます。  ・　チーム盛商として、仕事は複数名で  協力して実施することをモットー  に、全職員が連携協力して仕事ができる職場環境の醸成に努力します。  ・　管理職が、教職員の健康について配  慮するため日常の会話を大切にします。 |
| **２　目指す姿** | **４　目　　標** | |
| ・　教職員一人ひとりが、やりがいと充実感をもって業務に取り組んでい  る。  ・　チーム盛商の精神のもと、教職員がお互いに協力し合いながら業務を分担して取り組んでいる。  ・　教職員が有給休暇を取得しやすく、家庭や個人の時間を確保できている。  ・　働き方改革を意識した生活様式が確立されている。  ・　管理職が日頃から、教職員の働き方改革について耳を傾け、改善につなげている。 | ・　時間外在校等時間が月100時間以上の教職員→０人【０人】   * 時間外在校等時間（週休日の部活動指導従事時間を除く）が45時間以上の教職員   　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　→10％以下【10％】  ・　部活動休養日を週２回又は年間100日以上実施している教職員→70％以上【69％】  ・　週に１回以上定時退庁を行う教職員→40％以上【31％】  ・　年間に1日単位有給休暇５日以上と夏季休暇５日を取得している教職員→60%【58％】  ・　やりがいや働きやすさを感じて仕事に取り組んでいる教職員→70％【69％】  ・　心身の健康を考えて仕事ができている。→70％以上【61％】  ・　職場の仕事量に不公平感を感じる教職員→20％以下【25％】  　 【　】は、前年度の数値 | |